

2005年10月17日 二期会のバロック・オペラ盛況で終わる

【東京発】二期会ニューウェーブオペラ劇場のヘンデル〈ジュリアス・シーザー〉(ジュリオ・チェザレ)が15、16日の両日、東京・王子駅前の北とぴあさくらホールで行われた。鈴木雅明指揮のバッハ・コレギウム・ジャパンの演奏による本格的なバロック・オペラを上演と話題を集めた公演で、歌手陣は、二期会のオペラ研修所などからオーディションで選ばれた若手で固められた。

16日の最終日は、クレオパトラ役の星川美保子が安定した音程や弱音で超絶技巧を駆使した華麗なアリアを披露、この日いちばんの好演となった。シーザー役の田村由貴絵やブトレマイオス役の諸田広美は、本来はカストラートが歌うこれらの役をメゾソプラノの歌手が歌う難しさを感じたものの、まずまずの出来。また、鈴木雅明率いるバッハ・コレギウム・ジャパンのきびきびとして、遊び心たっぷりの演奏は、バロック・オペラの楽しさを存分に客席に伝えていた。平尾力哉の演出も3面スクリーンを使った工夫あふれるもの。征服者古代ローマと現代のアメリカ合衆国をダブらせ、直接的なメッセージ性を送っていた。

<http://classic-japan.cocolog-nifty.com/news/2005/10/index.html>